経済産業省 近畿経済産業局 / 神戸大学 / 神戸医療産業都市 KOBE Biomedical Innovation Cluster

令和8年度 スタートアップの「高さ」創出・継続支援のための
産学接点形成実証事業



「関西・共創の環」
DAYS on Campus
神戸大学 in 神戸医療産業都市

～バイオものづくり × 医療創成工学の最前線を、
ポートアイランドで1日で体感する～

企業の共創・
開発者向け
ご招待者限定

2026年（令和8年）

12/18 金 14:00 – 17:30

会場

第一部 **神戸大学 統合研究拠点**（神戸市中央区港島南町7-1-48）
第二部 **バイオものづくり研究棟／CLIK**（ポートライナー「計算科学センター」駅前）

日本最大級のバイオメディカルクラスター・ポートアイランド。神戸大学は神戸市や経済界と強力に連携し、グローバルな産業集積地の形成を進めています。基調講演・研究者ピッチ、2025年10月完成の「バイオものづくり研究棟」の見学、研究者と直接対話できるネットワーキングを通じて、貴社の新規事業・研究開発につながる共創の種を見つけてください。

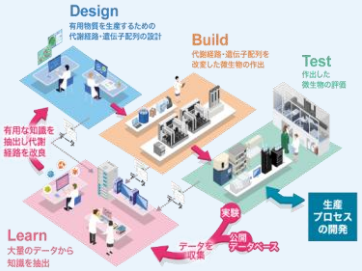
Program 当日プログラム

第一部 14:00–16:00 ｜ 神戸大学 統合研究拠点

1	14:00	開会・ご挨拶	
2	14:05	神戸医療産業都市の取組	神戸市 × 神戸大学 × アイパーク 等
3	14:20	神戸大学の企業との連携事例紹介	契約学科、インサイト 他
4	14:30	基調講演「神戸発革新的デバイス」	神戸大学　村垣 先生
5	15:00	バイオ及び医療創成研究者からのピッチ	研究者6名程度が登壇

第二部 16:10–17:30 ｜ バイオものづくり研究棟／CLIK

6	16:10	施設見学及び取組紹介	神戸大学 バイオものづくり研究棟
7	16:50	中締め・ネットワーキング	クリエイティブラボ神戸（CLIK）にて



ロボット・AIを駆使したDX研究環境（バイオものづくり研究棟）

今回の見どころ

- 「医療創成」×「バイオものづくり」の両面に1日で触れられる
- 2025年10月完成の研究棟（延べ約3,000㎡）を見学
- 研究者と直接対話できるネットワーキング

Entry お申し込み

右のQRコード又は以下のサイトよりお申し込みください
https://forms.cloud.microsoft/r/jPc9euCXUj
※本チラシをお送りしたご招待者限定のイベントです

【主催】関西・共創の環（近畿経済産業局）
【共同主催】神戸市 企画調整局 医療産業都市部 ／ 神戸大学 学術・社会共創機構 社会共創部門・共創事業部門
【協力】兵庫県、関西経済連合会、神戸商工会議所、兵庫工業会、神戸経済同友会、三井住友銀行、KPMG（あずさ監査法人）、アイパークインスティチュート、大和ハウス、関西イノベーションイニシアティブ、Biock、中小企業基盤整備機構、理化学研究所、神戸医療産業都市推進機構 、神戸都市振興サービス

【実施主体】近畿経済産業局 地域経済部 スタートアップ推進室
TEL.06-6966-6010
【事務局・お問い合わせ】アルパック(株)地域計画建築研究所
京都市下京区四条通柳馬場西入立売中之町99 四条SETビル2F
TEL.(075)221-5132（代表）　担当：山部・山口・酒井

基調講演



基調講演 14:30～15:00

「神戸発革新的デバイス」

村垣 善浩 先生

神戸大学大学院　医学系研究科　医療創成工学専攻　教授

神戸大学 医療創成工学科 教員紹介 https://www.med.kobe-u.ac.jp/mde/staff/s_muragaki.html
医療機器ナビ「【医療界の先輩インタビュー】村垣善浩教授編①」 https://www.iryokiki-navi.com/column/714

【専門・研究内容】
脳神経外科：悪性脳腫瘍の新しい治療法の開発　**スマート治療室**：手術ナビゲーション　**新規治療機器の開発**：スマートロボットの開発

【研究紹介】スマート治療室「SCOT(Smart Cyber Operating Theater)」
部屋全体が一つの医療機器として機能する手術室。手術台・内視鏡・麻酔器などをネットワークで接続し、術中データを同期・表示して術者の意思決定を支援する。3大学と20社以上の医療機器メーカーが参画したプロジェクト(AMED・東京女子医科大学が中心)の代表研究者。

【抱負】未来の医療を実現する治療機器と、ニーズに応える「売れる」医療機器の研究・開発・実用化を目指す

ピッチ登壇者紹介①　バイオものづくり

※第一部 15:00～16:00「バイオ及び医療創成研究者からのピッチ」登壇予定者



荻野 千秋 先生

バイオ

神戸大学大学院工学研究科
応用化学専攻 化学工学講座 教授
バイオものづくり共創研究拠点
スマート育種・バイオ生産チーム リーダー

【研究テーマ】
未利用バイオマスから燃料・化学品・素材をつくるバイオ生産プロセス
【紹介ポイント】
- 農業・産業由来の未利用バイオマスを原料に、原料調達・前処理・微生物生産・精製まで一貫して研究
- SATREPS「フードエステート廃棄物の変換技術によるバイオ循環経済の樹立」(インドネシア、2023年度採択)研究代表者
- パーム油搾油廃水からの燃料・化学品生産は技術がほぼ確立し、実用化に向けたコスト試算段階
- 国内ではソルガム等を原料とするSAF(持続可能な航空燃料)展開も視野

研究室HP：https://www2.kobe-u.ac.jp/~akondo/ogino.html



石川 周 先生

バイオ

神戸大学大学院
科学技術イノベーション研究科
科学技術イノベーション専攻
バイオ環境講座 准教授
(農学部 微生物機能化学教育研究分野)

【研究テーマ】
枯草菌による超高分子量ポリ-γ-グルタミン酸(L-PGA)の高生産と社会実装
【紹介ポイント】
- 枯草菌を用いて、超高分子量L-PGA(uLtra-PGA)を安価な合成培地で高生産する技術を開発
- L-PGAは保湿性・皮膜形成能に優れ、化粧品原料、医療用接着剤、創傷被覆材、吸水性ポリマー、バイオプラスチック等へ応用可能
- KSAC 第2回スタートアップ創出プログラム(GAPファンド)採択「低価格で高品質なL-PGAを基盤とした段階的な市場拡大と製品化戦略」

研究室HP：https://www.research.kobe-u.ac.jp/ans-applmic/index.html



秀瀬 涼太 先生

バイオ

神戸大学大学院
科学技術イノベーション研究科 特命教授
先端バイオ工学研究センター(兼任)

【研究テーマ】
蛍光バイオセンサーの開発と応用による、高速・高精度な化合物計測技術基盤の創出
【紹介ポイント】
- AI時代のデータ取得の基礎となる化合物分析は、クロマトグラフィーでは時間を要し、多検体処理が課題
- タンパク質工学で設計した蛍光バイオセンサーにより、試料と混合後すぐに室温で測定
- 診断薬・バイオ試薬、化学品・素材生産、環境・エネルギー、食品・農業分野での共同開発先を募集

研究室HP：https://www2.kobe-u.ac.jp/~akondo/hidese.html

ピッチ登壇者紹介②　医療創成工学

※第一部 15:00～16:00「バイオ及び医療創成研究者からのピッチ」登壇予定者

医療創成工学



中村 澪奈 さん

神戸大学大学院　医学系研究科
医療創成工学専攻　博士後期課程1年

【研究テーマ】
世界初の自律麻酔ロボットへの挑戦　～産学連携で応える、麻酔科医不足という社会課題～
【紹介ポイント】
- 外科手術が増える一方、麻酔科医不足が多くの先進国で深刻化。質の高い麻酔管理を持続的に提供する仕組みが急務
- 治療室内の多種の情報から手術の進行や患者の状態を捉え、AIが麻酔深度を予測しながら麻酔薬の投与量を自律制御する「自律麻酔ロボット」の世界初の実現を目指す
- 麻酔科医をはじめ脳神経外科・泌尿器科・循環器内科等の臨床医、AI研究者、大学院生が領域を越えて研究
- 2024年度AMED「革新的医療技術研究開発推進事業(産学官共同型)」採択。医療機器企業との共同研究として推進



権藤 涼美 さん

神戸大学大学院　医学系研究科
医療創成工学専攻　博士前期課程2年

【研究テーマ】
血中二酸化炭素分圧の非侵襲モニタリングを目的とした光音響センサ
【紹介ポイント】
- 呼吸状態の重要指標である動脈血中二酸化炭素分圧($PaCO_2$)の測定には動脈血採血が必要で、患者負担や連続モニタリングに課題
- 光の吸収に伴い音波が発生する「光音響効果」を利用し、$PaCO_2$を非侵襲かつ連続的に測定するセンサの開発を目指す
- 原理検証や生体組織を考慮したシミュレーションを踏まえてセンサを設計・試作。現在は生体模擬ファントムで検出性能を評価
- 将来は医療現場に加え、在宅医療や日常的な健康管理への応用を目指す

専攻HP：https://www.med.kobe-u.ac.jp/mde/

医療創成工学



大谷 亨 先生

神戸大学大学院　医学系研究科
医療創成工学専攻 教授
専門：ソフトバイオマテリアル・生体親和性材料

【研究テーマ】
血管をつないだ、その先の組織を守る～遊離皮弁再建に向けた組織界面保護ヒアルロン酸ゲル～

【紹介ポイント】
- **未解決の臨床ニーズ：** 遊離皮弁再建術では、血管吻合が成功しても移植組織の部分壊死や創傷治癒遅延が生じ、再手術や入院期間延長につながることがある
- **革新的バイオマテリアル：** 独自の化学架橋技術による生体吸収性ヒアルロン酸ゲルを開発。組織界面の保護と微小循環改善を通じて、再建手術の治療成績向上を目指す
- **新産業創出への展開：** 2026年度AMED「次世代ヘルステック・スタートアップ育成支援事業」に採択され、2028年のスタートアップ設立を計画。神戸大学発の医療機器として実用化を進め、素材・製造・医療機器分野の企業との共同開発や事業連携を目指す。

研究室HP：http://www2.kobe-u.ac.jp/~ooya/index.html

第1部 会場・受付のご案内

第1部　14:00～16:00　会場・集合場所

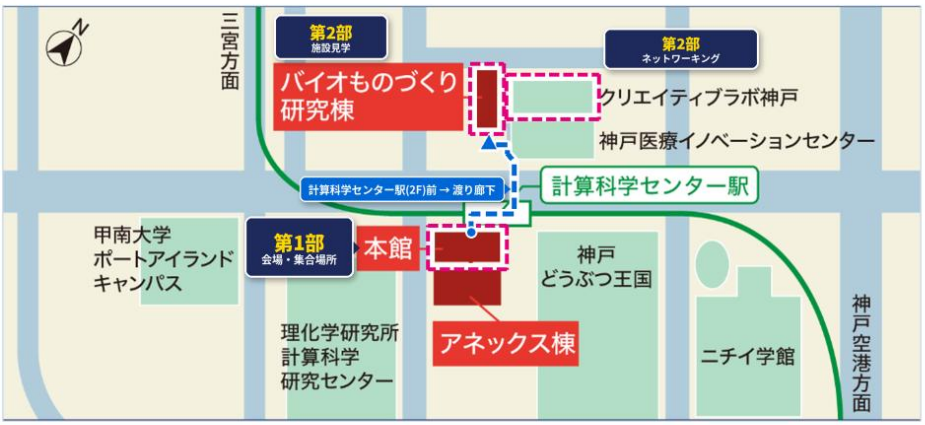
神戸大学　統合研究拠点
本館2F　コンベンションホール

集合　第1部の会場・集合場所は統合研究拠点 本館2Fです

受付　本館2F コンベンションホール前(下の写真付近)に受付を設置します



会場案内図



第2部　16:10～17:30

バイオものづくり研究棟
／ クリエイティブラボ神戸(CLIK)
ポートライナー「計算科学センター」駅前

16:10～16:40　施設見学及び取組紹介
会場：バイオものづくり研究棟

16:50～17:30　ネットワーキング
会場：クリエイティブラボ神戸(CLIK)

16:00～16:10　第1部会場(本館)から第2部会場へ移動　※大学及び事務局等のスタッフが誘導します

経済産業省 近畿経済産業局　神戸大学　KBIC 神戸医療産業都市 KOBE Biomedical Innovation Cluster